

# 社会 なんて? が知ってるよ

執筆 浜学園 駿台・浜学園 社会科 イラスト 高世えり子

きょうのお題

# Q

鉛筆って、どのようにして定着したの?

# A

明治時代に国産の鉛筆ができ、学びの場でも身近に!

## わかる 1

### 徳川家康へのプレゼントにも

みんなの筆箱には鉛筆が入っているよね。日本にはじめて伝えられたのは江戸時代のはじめで、ヨーロッパからの使者が江戸幕府の初代将軍、徳川家康にプレゼントしたという。実物は家康をまつる久能山東照宮博物館(静岡県)にあり、原形をのこすものとしては日本でいちばん古いんだって。

戦国武将の伊達政宗のお墓からも不完全なかたちだけれども鉛筆が発掘されている。アメリカのパリーが1853年に軍艦を率いて浦賀(神奈川県)へ来航したときには江戸幕府への献上品として鉛筆がもりこまれていたみたいだよ。



徳川家康と伊達政宗の鉛筆。どちらも複製(レプリカ) 日本文具資料館 蔵

## わかる 2

### かわかす消せない…筆は不便!?

江戸時代の一般的な筆記具は筆。すずりですり、筆にふくませて紙に記した。町や村には寺子屋があり、町人や農家の子は筆と紙で文字の書きかたを教わった。明治時代に学校が設置されると、このスタイルが不便に。墨で書かれたものはかわくまでに時間がかかるうえに消せない。筆算を書くときは大量の紙も必要になった。その結果、書いたり消したりをくり返せるよう、石の板(石盤)に白い石(石筆)で書く方法がとり入れられることになった。ところが「重くて割れやすい」「つばで消すなど不衛生」といった問題点が指摘されはじめた。



寺子屋で学ぶ子どもがえがかれている浮世絵の一部 「寺子屋書初」 国立国会図書館デジタルコレクション

## わかる 3

### 海外の技術を学び、国産を実現

問題点を指摘する声が高まる前の1873年、オーストリアのウィーンで万国博覧会(万博)が開催。明治政府は派遣団に鉛筆の製法などを習得させた。技術を学んで帰国した人から小池卯八郎さんという人が教わり、国産初の鉛筆をつくった。力を入れた人はほかにも、1878年のフランス・パリ万博に派遣された眞崎仁六さんだ。出展された鉛筆の使いやすさに注目して製造法を研究。つくられた鉛筆は通信省(いまの総務省)でも使われるようになった。こんな具合に国産鉛筆が身近な存在になる基礎ができ、やがて学校でも使われるようになったよ。



通信省で使われるようになった鉛筆 三菱鉛筆提供

# まきもどしまとめノート

きょうの勉強をふり返ろう。まきもどすように「わかる3」からチェック! 絵がヒントになるよ。おうちの人といっしょに答え合わせをしよう。

### 1 明治時代にはじめて鉛筆が納入された役所はどれ?



[ 財務省 外務省 通信省 ]

### 2 明治時代のはじめ、子どもたちが筆記に使った石の板をなんというかな。



[ 石盤 黒板 ホワイトボード ]

### 3 水といっしょにすずりですり、筆にふくませるものは?

[ ]

### 4 海外の使者から鉛筆をプレゼントされた江戸幕府の初代将軍は?



[ ]

社会科などで勉強する内容にかんする「なんて?」を取り上げ、隔週で解説します。みなさんが「なんて?」と思うことも教えてね。名前、学年、住所、電話番号を書いてメール(asasho@asagaku.co.jp)か、はがき〒104-8433朝日小学生新聞「社会 なんて? 知ってるよ」係へ。◆来週は「日本史を織りなす人物」です。